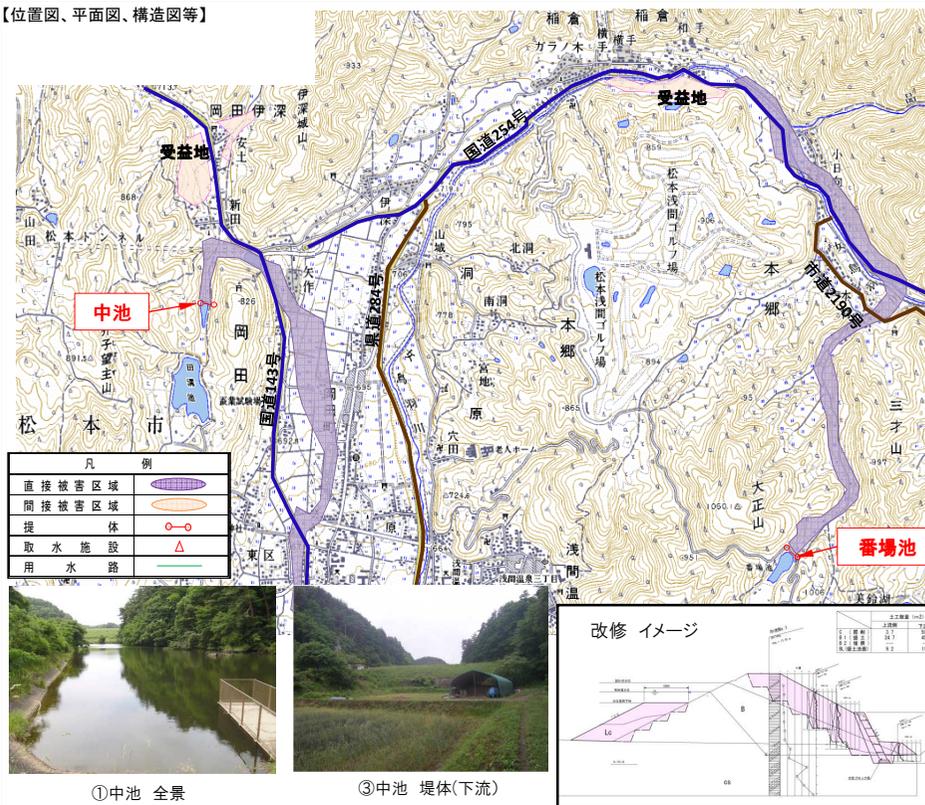


(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		農村地域防災減災事業(ため池補強)		路河川名等					
事業毎の通番		4	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	岡田本郷(おかだほんごう)			
事業概要	事業目的	本地区のため池については、耐震性が不明であったことから、平成25年度に耐震性の調査を行ったところ、堤体上下流の法面が地震時に必要な耐震性を有していないことが判明した。このため、早急に施設の耐震補強を行い、災害の未然防止による、地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業(自信と誇りを持てる信州畜産物の生産)		事業実施の根拠法令等	土地改良法				
	関連する事業、計画等	特になし							
	保全対象・範囲	ため池 N=2箇所							
	受益対象・範囲	かんがい面積 A=34.9ha							
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.0		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	ため池改修工 N=2箇所			100,000	55,000	11,000	30,000	4,000	
年度事業内容(主な工種)	測量設計 1式			16,000	8,800	1,760	4,000	1,440	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果 災害防止効果							
	間接的効果(定量的・定性的)	営農経費節減効果 維持管理節減効果							
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人家戸数 : 中池:12戸、番場池:13戸 ○ 公共施設数 : 中池:国道143号、番場池:市道2190号線 ○ 農地面積、農業用施設 : 中池 : 受益面積11.5ha、かんがい面積 : 11.5ha 番場池 : 受益面積23.7ha、かんがい面積 : 23.4ha ○ 要配慮者利用施設等の有無 : なし 						評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ ため池依存度 : 中池:100%、番場池100% ○ ため池受益面積 : 中池:かんがい面積:11.5ha、番場池:かんがい面積:23.4ha ○ 地域防災計画上の位置づけ : 県・市町村の地域防災計画に位置付ける予定がある。 						評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 費用便益比(B/C) : 1.2以上 ○ 事業期間 : 4年間(H28~H31) ○ 工法等の比較検討 : 検討あり 						評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 危険度調査結果 : 要改修度A ○ 過去の被災履歴 : 特になし ○ 応急対策の実施状況 : 応急対策実施中(水位低下) 						評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業情報の共有 : 関係者を中心に周知。 ○ 地域の取り組み : 協力的である。 ○ 地域の合意形成 : 番場池:H26.4.24、中池:H26.5.18に管理者へ説明 						評価	B
	部意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	耐震調査の結果、堤体が耐震性を有していないことが判明している。地震時など、下流域への影響も大きいことから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区ため池は、昭和初期に築造され、平成7~13年度にかけて部分的な改修を行っているが、堤体の耐震性の検討をおこなってこなかった。このため、平成25年度に堤体の耐震性点検を行ったところ、地震時において堤体の耐震性を有していないことが判明したため、堤体の補強を行うこととした。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	ため池の維持管理は、それぞれ松本市女鳥羽川土地改良区、女鳥羽農業水利協議会を中心に地元住民により行われている。
③事業説明等の経緯	堤体の耐震性調査を行ったところ、必要な耐震性を有していないことが判明したため、H26.4.24に番場池の施設管理者の女鳥羽川土地改良区、H26.5.18に中池の施設管理者の松本市女鳥羽川土地改良区に説明を行い、ため池の水位を下げて応急対策を行っている。今後、地域住民等を対象に説明会を実施して事業の理解を深めていきたい。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区のため池は、周辺が市街地化したため、ため池の下流直下に住宅が存在する。さらに下流には、国道が存在するため、被害は重大な影響を及ぼすこととなる。
⑥地域活性化への影響と配慮	ため池の依存度が高いため、ため池が利用できなくなれば、農業経営に重大な影響を与える。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度	緯度	36.16.43.489
	経度	137.58.13.619